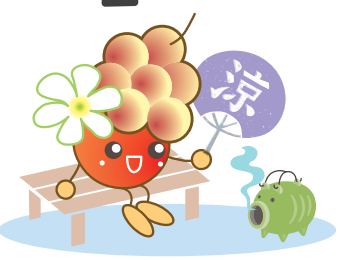
2022年(令和4年)
8月号
No.315
発行日：毎月1日
(4月号は3月31日)

広報 ひがしよどがわ



東淀川区キャラクター
「こぶしの みのりちゃん」

8月号 TOPICS

1・8 | 特集 | 阪急電鉄京都線・千里線 連続立体交差事業
2►4 東淀川区からの情報
5►7 大阪市からの情報 大阪市民のみなさんへ

阪急電鉄京都線・千里線
連続立体交差事業

もっと住みやすく、もっとにぎわう街へ

東淀川区は変身中！

11 住み続けられるまちづくりを

地域一体化
鉄道による分断を解消

踏切解消
事故や渋滞をなくします

側道整備
歩行者の安全性も向上

阪急電鉄京都線・千里線 連続立体交差事業をご存じですか？
この連続立体交差事業は、道路と鉄道の交差部で鉄道を高架化して
踏切を一挙になくすことで踏切事故や踏切渋滞を解消し、鉄道により分断された市街地の一体化を促進する事業です。
本事業では、阪急京都線の崇禅寺駅付近～上新庄駅付近、阪急千里線の柴島駅付近～吹田駅付近で
令和10年度の高架切替、令和13年度の事業完了に向け工事を進めています。
今回は、この事業でどのように街が変化していくのか、工事の進捗状況とともに紹介します。

詳しくは8面をご覧ください

発　行　東淀川区役所
〒533-8501大阪市東淀川区豊新2-1-4
区役所代表 TEL 4809-9986 FAX 6327-1920
各記事についての問合せは、各問合せ先にお願いします。

区の花
「こぶし」

東淀川区ホームページ
東淀川区役所

区の面積	13.27㎢
区の人口	175,711人
区の世帯数	100,801世帯

令和4年7月1日現在推計

OSAKA, KANSAI, JAPAN EXPO 2025

広告

■広告に関する一切の責任は広告主に帰属します。また、東淀川区が推奨するものではありません。

開庁時間
[平日] 9:00～17:30　[金曜日] 19:00まで延長(区役所出張所を除く一部窓口)　※月曜などの休み明けは混雑します。毎週金曜の延長窓口などもご利用ください。
[28日(日)] 9:00～17:30(区役所出張所を除く一部窓口)

問 総務 3階31番 TEL 4809-9625

LINE（ライン） 東淀川区 LINE 検索
Twitter（ツイッター） 東淀川区 Twitter 検索
YouTube（ユーチューブ） 東淀川区 YouTube 検索

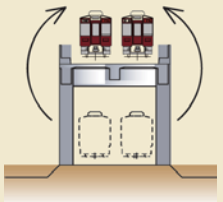
阪急電鉄京都線・千里線
連続立体交差事業

東淀川区はどのように変身中？

現在の状況をご紹介します！

第2工区

現在線の真上に新しい線路を作っています。



第8工区

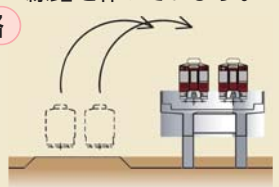
神崎川を渡る橋を作っています。橋脚を減らすことで川の流れがよくなり、減災の効果もあります。

現在の阪急の線路と交差するJRおおさか東線のさらに上空に、新しい線路を通す巨大な橋を作っています。

第4・5工区

第6工区

現在線の横に新しい線路を作っています。

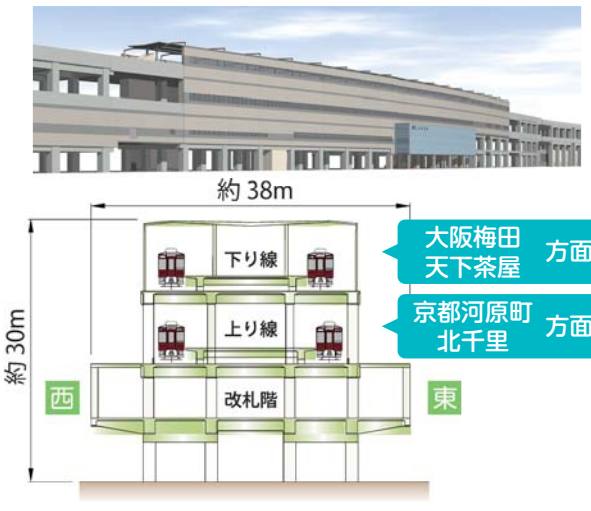


- 鉄道高架区間
- 側道整備区間
- 区間整理事業範囲
- 踏切

POINT 淡路駅はどう変わる!?

手前に見えるのが、現在の淡路駅。
奥に見えるのが、現在工事中の新しい淡路駅です。

淡路駅の完成予定図はこちら!



問 建設局 道路河川部
街路課（鉄道交差担当） TEL 6615-6763
企画調整 1階9番 TEL 4809-9927

※令和4年7月現在の情報です。

建設局道路河川部
鉄道交差担当課長
竹田 英司

平成20年に高架工事に着手以降、皆さんには通行規制や夜間工事など長期にわたってご理解、ご協力いただきまして、心よりお礼を申し上げます。現在工事は最盛期を迎え、鉄道高架橋の建設が進み、概ね5割の進捗率となっています。本事業は4階建てとなる淡路駅や、阪急電鉄の橋梁がJR東海道新幹線の上空を越えるという、全国でも類を見ない高架化工事を行っています。

本事業では、踏切の除却による交通円滑化など直接的な効果をはじめ、鉄道の高架化後、都市計画道路・歌島豊里線の整備や高架下の活用により沿線地域の活性化や地域の一体化による防災力の向上といった、経済面・環境面・にぎわいなど広く波及していくことが期待されます。

東淀川区のまちづくり構想の実現にも貢献できるよう、今後とも阪急電鉄や施工業者と一体となって、着実に事業を進めていきますので、引き続きご理解、ご協力をよろしくお願いします。

まちの未来に期待します

大正10年に開業して以降、阪急京都線・千里線は主要な交通基盤として大阪市北部の発展を支えてきました。人口も増え、交通量の増加に伴い限られた踏切がボトルネックとなっていることから、区画整理事業とあわせてまちづくりの一環として高架化事業が進められています。

まちづくりへの影響も大きく、地域の方々との協議会で将来のまちづくりに向けた意見交換も行っています。高架下の活用や新たな道路整備などにより阪急沿線のみならず東淀川区のまちの姿が大きく変わることとなります。完成まで、まだ時間はかかりますが、まちの未来に期待したいと思います。

東淀川区長
西山 忠邦

広告

「広報ひがしよどがわ」8月号は46,000部発行し、1部あたりの発行単価（配付費用含む）は約24円です（そのうち約4.6円を広告収入で賄っています）。
「広報ひがしよどがわ」は再生紙を使用しています。